

1. 東西軸路線バス住民アンケート

1.1 目的

- 東西軸路線バスの沿線地域を対象に、住民の生活実態・交通行動等の公共交通に対するニーズをはじめ公共交通改善実施計画（東西軸の強化施策・東西軸路線編）の運行評価指標及び運行改善参考指標として活用するためのアンケート調査を実施しました。

1.2 アンケート調査実施概要

(1) 調査方法

- 住民基本台帳から無作為抽出による郵送配布・郵送回収（6ヶ月以上在住者対象、町丁目別・年代別・性別に調査対象地区の人口構成に応じて均等抽出）

(2) 調査対象者

- 東西軸路線バスを運行する地区に在住する15歳以上の市民

(3) 調査規模

- 東西軸路線バス沿線地域に1,000部/回配布

(4) 調査時期

- 令和5年（2023年）10月10日（火）～10月27日（金）

(5) 調査項目

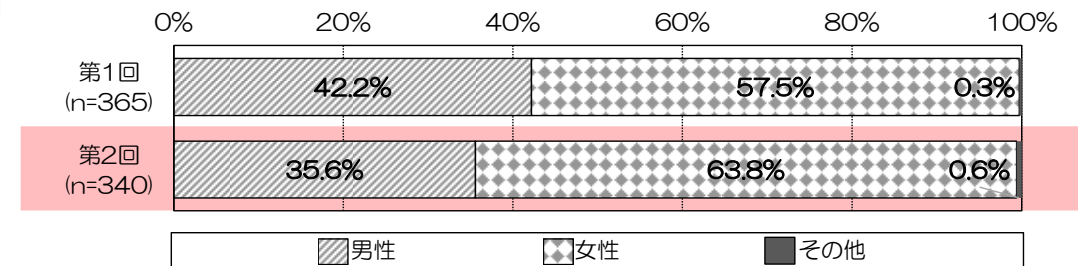
- ① 普段の外出状況
- ② 豊中市内を運行するバス交通の利用状況について
- ③ 公共交通の必要性について
- ④ 属性

【参考】これまでのアンケート回答状況
 第1回：1,000 配布（令和4年（2022年）1月実施）
 回収部数：370 票、回答率：37.0%

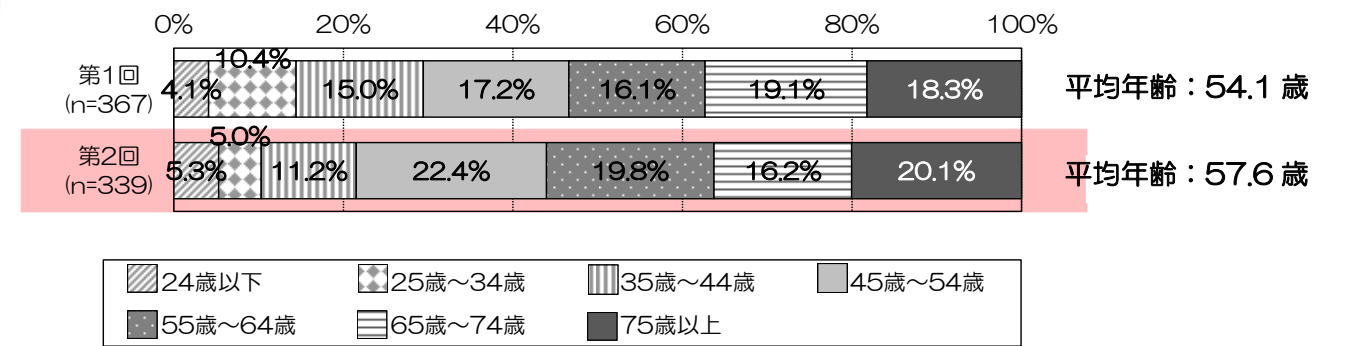
1.3 回答状況

- 回収部数が352票、回答率が35.2%です。
- 回答者の平均年齢は、57.6歳であり、高齢者及び10年以内に高齢者となる世代の割合が多い状況でのアンケートデータです。
- 回答者の住まいの地域は、中部地域東（中部地域東-北+中部地域東-南）が約36%と最も多く、次いで東部地域（東部地域東+東部地域西）が約34%、中部地域西が約20%、中部地域中が約11%です。

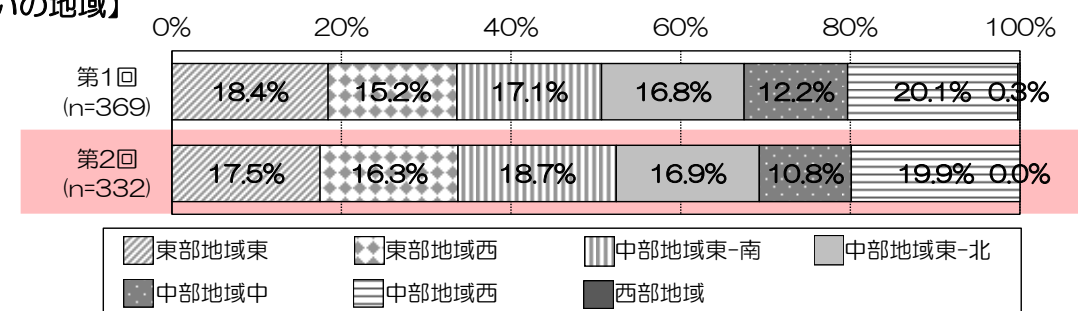
【性別】



【年齢】



【住まいの地域】



【参考】住まいの地域の地域区分

西部地域	中部地域西	中部地域中	中部地域東-北	中部地域東-南	東部地域西	東部地域東
原田中（1～2丁目） 原田南（1～2丁目） 原田西町	曾根西町（1～4丁目） 曾根南町（1～3丁目） 原田元町（1～3丁目）	曾根東町（1～6丁目）	長興寺北（1～3丁目） 南桜塚（1～4丁目）	服部本町（5丁目） 城山町（1～4丁目） 長興寺南（1～4丁目）	若竹町（1～2丁目） 北条町（1～4丁目）	東寺内町 寺内（1～2丁目）

【サンプル数の見方について】

- 基数となるべき実数は「n」（回答者数）、複数回答が可能な設問では総回答数を「N」としている。

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

1.4 回答者属性〔第1回～第2回共通設問〕

- 普段の外出状況を見ると、「週に6日以上」外出する方は、年齢が高齢になるにつれて、微減少傾向にあります。第1回と比べて65歳～74歳及び75歳以上の割合が増加しています。
- 自動車等の保有状況を年齢別に見ると、「自動車（自分で運転する）」は55～64歳の方の割合が高く、「自転車」は全ての世代において保有割合が高く、20～54歳で約6割、55～64歳で5割以上を占める。（※第1回と同じ傾向）。
- 運転免許証の保有状況を年齢別に見ると、「自動車」は55～64歳の方で約8割を占め、「持っていない」は高齢になるにつれて増加傾向にあります（※これまでの第1回と概ね同じ傾向）。

【普段の外出頻度（年齢別）】

	週に6日以上	週に4～5日	週に2～3日	週に1日	2週間に1日	3週間に1日	1か月に1日以下	総計
全体(n=331)	50%	27%	16%	3%	2%	0%	2%	100%
20歳～54歳(n=142)	54%	26%	13%	2%	3%	0%	2%	100%
55歳～64歳(n=66)	53%	27%	18%	2%	0%	0%	0%	100%
65歳～74歳(n=50)	44%	34%	14%	6%	0%	0%	2%	100%
75歳以上(n=65)	45%	23%	22%	3%	3%	0%	5%	100%

【参考】第1回（令和4年1月実施）の結果

	週に6日以上	週に4～5日	週に2～3日	週に1日	2週間に1日	3週間に1日	1か月に1日以下	総計
全体(n=366)	46%	28%	17%	5%	2%	1%	2%	100%
20歳～54歳(n=171)	60%	26%	11%	2%	1%	0%	1%	100%
55歳～64歳(n=58)	57%	21%	14%	5%	2%	2%	0%	100%
65歳～74歳(n=70)	33%	41%	14%	6%	3%	0%	3%	100%
75歳以上(n=64)	11%	27%	38%	14%	3%	2%	6%	100%

【自動車等の保有状況（年齢別）】

	自動車（自分で運転する）	自動車（家族が運転する）	自動二輪・原付	自転車	その他	持っていない	総計
全体(N=489、n=334)	39%	21%	8%	53%	1%	25%	146%
20歳～54歳(N=214、n=144)	38%	22%	8%	60%	0%	21%	149%
55歳～64歳(N=98、n=66)	44%	24%	6%	53%	0%	21%	148%
65歳～74歳(N=70、n=50)	40%	14%	8%	48%	0%	30%	140%
75歳以上(N=91、n=66)	35%	18%	9%	39%	3%	33%	138%

※複数回答（自動車等の保有状況）

【運転免許証の保有状況（年齢別）】

	自動車	自動二輪・原付	その他	持っていない	総計
全体(N=395、n=331)	64%	21%	1%	34%	119%
20歳～54歳(N=163、n=143)	66%	17%	1%	29%	114%
55歳～64歳(N=85、n=66)	76%	27%	2%	24%	129%
65歳～74歳(N=61、n=50)	64%	22%	2%	34%	122%
75歳以上(N=76、n=64)	50%	19%	0%	50%	119%

※複数回答（運転免許証の保有状況）

1.5 普段の外出状況〔第1回～第2回共通設問〕

(1) 平日に一番よく行く外出先について

- 外出目的を年齢別で見ると、20～54歳及び55歳～64歳は通勤の外出が最も多く、65歳以上では買い物目的の外出が最も多くなっています。また、75歳以上の通院目的の外出は、他の世代と比べてやや多くなっています（※第1回と同じ傾向）。
- 平日に一番よく行く外出先を見ると、豊中市内が約7割を占めています。外出先の内訳を見ると、阪急曽根駅周辺が最も多く、次いで隣接市の大阪市、その他豊中市、阪急服部天神駅周辺の順です（※第1回と概ね同じ傾向）。
- 外出目的を主な外出先で見ると、外出先が豊中市内の阪急曽根駅周辺、阪急服部天神駅周辺及び北大阪急行緑地公園駅周辺では「買い物」の割合、その他豊中市及び大阪市では「通勤」の割合が最も高くなっています。

【外出目的】

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体(n=349)	44%	2%	40%	5%	5%	4%	100%
20歳～54歳(n=149)	52%	3%	35%	3%	3%	4%	100%
55歳～64歳(n=67)	46%	1%	42%	0%	4%	6%	100%
65歳～74歳(n=54)	35%	2%	44%	7%	9%	2%	100%
75歳以上(n=68)	32%	0%	43%	16%	6%	3%	100%

【平日に一番よく行く外出先の内訳】

	回答数	割合
豊中市内	233	67%
阪急曽根駅周辺	91	26%
その他豊中市内	41	12%
阪急服部天神駅周辺	40	11%
北大阪急行緑地公園駅周辺	36	10%
阪急岡町駅周辺	24	7%
(未回答)	1	0%
隣接市	99	28%
大阪市	62	18%
吹田市	23	7%
Osaka Metro江坂駅	11	3%
その他吹田市内	6	2%
北大阪急行桃山台駅周辺	2	1%
(未回答)	4	1%
箕面市	7	2%
伊丹市	3	1%
尼崎市	2	1%
池田市	1	0%
(未回答)	1	0%
その他大阪府内	6	2%
茨木市	1	0%
高槻市	1	0%
摂津市	1	0%
豊能郡	1	0%
寝屋川市	1	0%
(未回答)	1	0%
その他兵庫県内	7	2%
神戸市	5	1%
伊丹市	1	0%
川西市	1	0%
その他府県	4	1%
京都府	2	1%
滋賀県	1	0%
(未回答)	1	0%
計	349	100%

【外出目的（主な外出先別）】

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体(n=349)	44%	2%	40%	5%	5%	4%	100%
豊中市内	16%	2%	63%	7%	10%	2%	100%
阪急曽根駅周辺(n=91)	16%	2%	63%	7%	10%	2%	100%
その他豊中市内(n=41)	49%	5%	27%	2%	7%	10%	100%
阪急服部天神駅周辺(n=40)	25%	0%	65%	10%	0%	0%	100%
北大阪急行緑地公園駅周辺(n=35)	29%	0%	51%	3%	9%	9%	100%
隣接市	87%	2%	6%	3%	2%	0%	100%

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

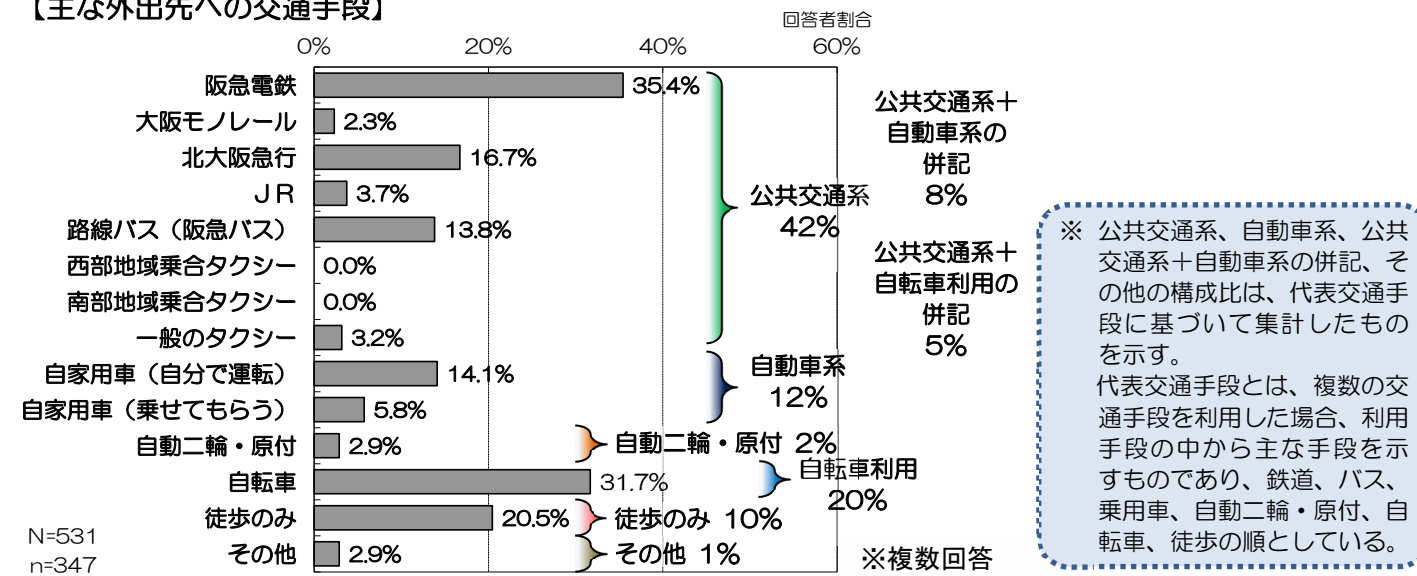
- ▶ 主な外出先の内訳を住まいの地区別に見ると、東部地域東では「大阪市」、東部地域西では「大阪市」及び「阪急服部天神駅周辺」、中部地域東（中部地域東-北+中部地域東-南）、中部地域中及び中部地域西では「阪急曽根駅周辺」が最も多い状況です（※第1回と概ね同じ傾向）。
- ▶ 主な外出先への交通手段を見ると、公共交通系が約4割、自転車系が約2割、自動車系（自分で運転+乗せてもらう）が約1割を占めています（※第1回と同じ傾向）。

【主な外出先の内訳（住まいの地区別）】

住まいの地域		豊中市内					大阪市	吹田市		
		北大阪急行緑地公園駅周辺	阪急岡町駅周辺	阪急曽根駅周辺	阪急服部天神駅周辺	その他豊中市内		北大阪急行桃山台駅周辺	Osaka Metro江坂駅	その他吹田市内
住まいの地域	東部地域東 (n=61)	21%	3%	16%	5%	13%	23%	0%	0%	2%
	東部地域西 (n=55)	15%	7%	15%	16%	9%	16%	2%	9%	4%
	中部地域東-南 (n=59)	7%	3%	32%	17%	8%	19%	0%	2%	2%
	中部地域東-北 (n=56)	9%	18%	27%	2%	14%	18%	0%	0%	2%
	中部地域中 (n=36)	6%	8%	25%	14%	8%	17%	0%	6%	3%
	中部地域西 (n=70)	3%	4%	36%	13%	13%	11%	1%	3%	0%
	西部地域 (n=0)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

住まいの地域		住まいの地区別							計
		箕面市	池田市	伊丹市	尼崎市	その他大阪府内	その他兵庫県内	その他府県	
住まいの地域	東部地域東 (n=61)	2%	2%	3%	0%	3%	5%	2%	100%
	東部地域西 (n=55)	0%	0%	0%	0%	2%	2%	4%	100%
	中部地域東-南 (n=59)	5%	0%	0%	2%	3%	0%	0%	100%
	中部地域東-北 (n=56)	4%	0%	0%	2%	4%	2%	0%	100%
	中部地域中 (n=36)	3%	0%	3%	0%	0%	8%	0%	100%
	中部地域西 (n=70)	0%	0%	0%	0%	4%	9%	3%	100%
	西部地域 (n=0)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

【主な外出先への交通手段】



【代表交通手段分担率の推移】

	自動車系	自動車系+公共交通系の併記	公共交通系	公共交通系+自転車利用の併記	自動二輪・原付	自転車利用	徒歩のみ	その他	計
第1回	14%	5%	38%	4%	1%	22%	15%	1%	100%
第2回	12%	8%	42%	5%	2%	20%	10%	1%	100%

(2) 休日に一番よく行く外出先について

- ▶ 外出目的を年齢別で見ると、全ての世代において「買い物」の外出が最も多い状況です（※第1回と同じ傾向）。
- ▶ 休日に一番よく行く外出先を見ると、豊中市内が5割以上、隣接市が約4割以上を占めています。外出先の内訳を見ると、大阪市が最も多く、次いで豊中市内の阪急曽根駅周辺です（※第1回と同じ傾向）。
- ▶ 外出目的を主な外出先で見ると、全ての外出先において「買い物」が最も多くを占めています（※第1回と同じ傾向）。

【外出目的】

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体 (n=331)	4%	0%	56%	2%	27%	11%	100%
20歳～54歳 (n=143)	4%	0%	59%	3%	26%	8%	100%
55歳～64歳 (n=65)	5%	0%	55%	2%	28%	11%	100%
65歳～74歳 (n=52)	4%	0%	50%	0%	29%	17%	100%
75歳以上 (n=62)	2%	0%	61%	3%	23%	11%	100%

【休日に一番よく行く外出先の内訳】

	回答数	割合
豊中市内	168	51%
阪急曽根駅周辺	53	16%
その他豊中市内	47	14%
阪急服部天神駅周辺	27	8%
北大阪急行緑地公園駅周辺	23	7%
阪急岡町駅周辺	15	5%
(未回答)	3	1%
隣接市	144	43%
大阪市	73	22%
吹田市	32	10%
Osaka Metro江坂駅	16	5%
その他吹田市内	9	3%
(未回答)	7	2%
伊丹市	20	6%
箕面市	14	4%
尼崎市	2	1%
池田市	1	0%
(未回答)	2	1%
その他大阪府内	10	3%
茨木市	5	2%
東大阪市	1	0%
堺市	1	0%
(未回答)	3	1%
その他兵庫県内	6	2%
神戸市	1	0%
宝塚市	1	0%
川西市	1	0%
兵庫県内	1	0%
(未回答)	2	1%
その他府県	4	1%
京都府	1	0%
奈良県	1	0%
(未回答)	2	1%
計	332	100%

【外出目的（主な外出先別）】

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計	
全体 (n=331)	4%	0%	56%	2%	27%	11%	100%	
豊中市内	阪急曽根駅周辺 (n=53)	0%	66%	4%	25%	6%	100%	
	その他豊中市内 (n=47)	6%	0%	60%	2%	17%	15%	100%
	阪急服部天神駅周辺 (n=27)	4%	0%	70%	4%	22%	0%	100%
隣接市	大阪市 (n=72)	7%	0%	53%	0%	32%	8%	100%
	吹田市 (n=32)	6%	0%	72%	3%	19%	0%	100%
うちOsaka Metro江坂駅 (n=16)	0%	0%	63%	6%	31%	0%	100%	

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

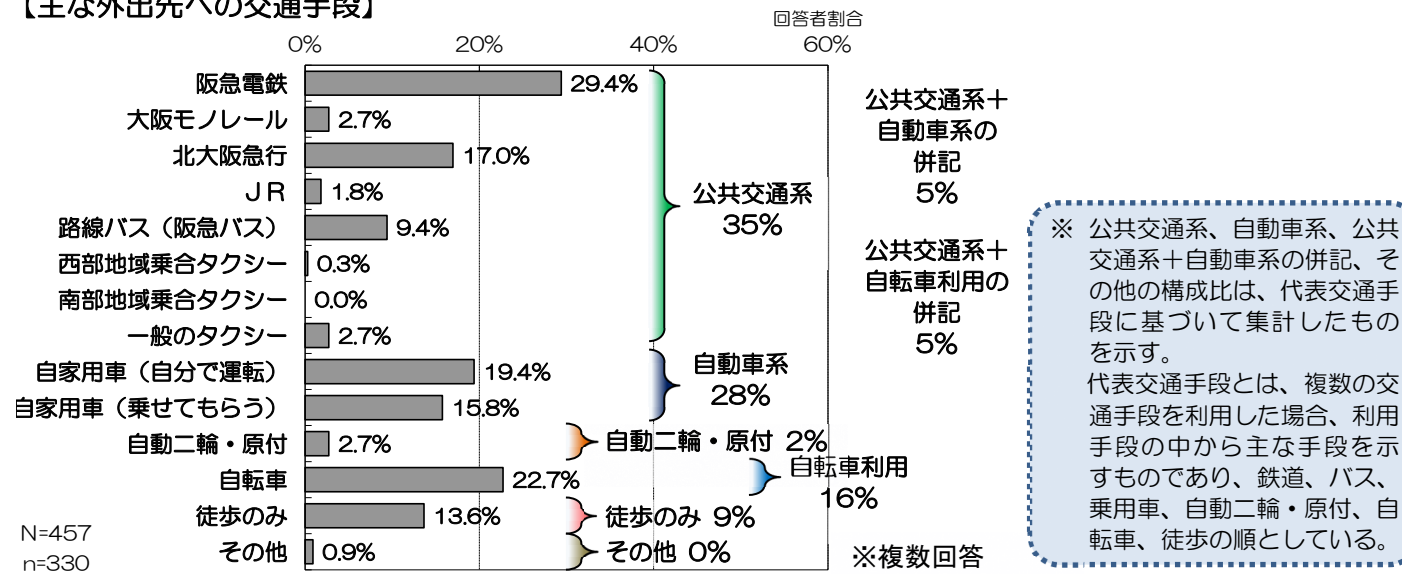
- 主な外出先の内訳を住まいの地区別に見ると、東部地域（東部地域東+東部地域西）、中部地域東（中部地域東-北+中部地域東-南）及び中部地域西では「大阪市」、中部地域中では「阪急曽根駅周辺」が最も多くなっています。
- 主な外出先への交通手段を見ると、公共交通系が約4割、自動車系（自分で運転+乗せてもらう）が約3割、自転車系が約2割を占めています（※第1回と概ね同じ傾向）。

【主な外出先の内訳（住まいの地区別）】

住まいの地域	東部地域東 (n=52)	豊中市内					大阪市	吹田市		
		北大阪急行緑地公園駅周辺	阪急岡町駅周辺	阪急曽根駅周辺	阪急服部天神駅周辺	その他豊中市内		北大阪急行桃山台駅周辺	Osaka Metro 江坂駅	その他吹田市内
東部地域東 (n=52)	12%	4%	8%	8%	12%	25%	0%	6%	6%	
東部地域西 (n=51)	12%	2%	16%	8%	18%	22%	0%	8%	4%	
中部地域東-南 (n=55)	5%	2%	15%	13%	18%	24%	0%	5%	2%	
中部地域東-北 (n=54)	7%	13%	13%	6%	7%	19%	0%	2%	4%	
中部地域中 (n=31)	0%	6%	35%	3%	16%	26%	0%	3%	0%	
中部地域西 (n=59)	2%	3%	17%	10%	20%	25%	0%	5%	0%	
西部地域 (n=0)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

住まいの地域	箕面市	池田市	伊丹市	尼崎市	その他大阪府内	その他兵庫県内	その他府県	計
東部地域東 (n=52)	4%	0%	8%	2%	0%	4%	4%	100%
東部地域西 (n=51)	2%	0%	4%	0%	4%	2%	0%	100%
中部地域東-南 (n=55)	4%	0%	5%	2%	4%	2%	0%	100%
中部地域東-北 (n=54)	9%	0%	11%	0%	4%	4%	2%	100%
中部地域中 (n=31)	6%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
中部地域西 (n=59)	3%	0%	8%	0%	3%	0%	2%	100%
西部地域 (n=0)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

【主な外出先への交通手段】



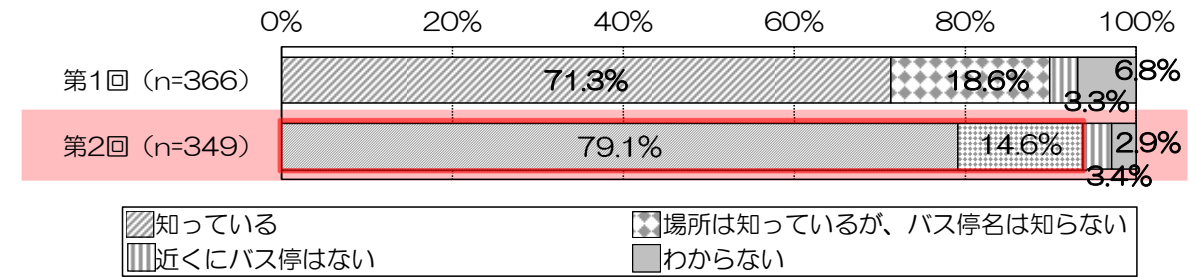
【代表交通手段分担率の推移】

	自動車系	自動車系+公共交通系の併記	公共交通系	公共交通系+自転車利用の併記	自動二輪・原付	自転車利用	徒歩のみ	その他	計
第1回	31%	4%	27%	4%	1%	17%	16%	0%	100%
第2回	28%	5%	35%	5%	2%	16%	9%	0%	100%

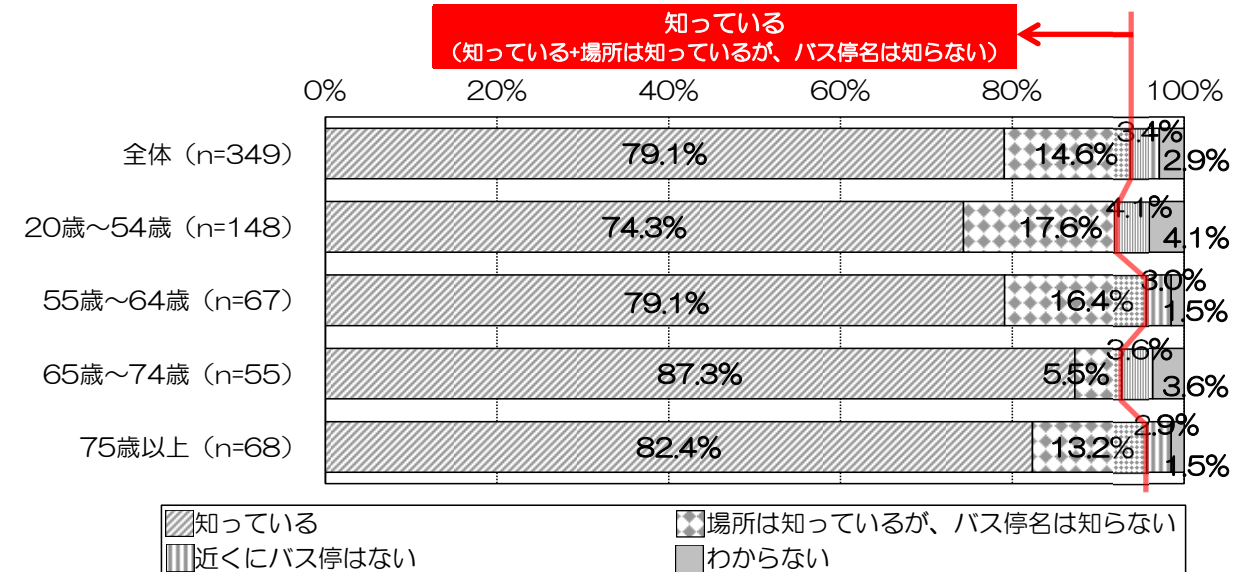
1.6 路線バス停留所の認知状況〔第1回～第2回共通設問〕

- 路線バス停留所の認知度は、「知っている（知っている+場所は知っているが、バス停名は知らない）」が9割以上を占めています（※第1回と同じ傾向）。
- 年齢別で見ると、全ての世代において「知っている（知っている+場所は知っているが、バス停名は知らない）」が9割以上を占めています。

【路線バス停留所の認知度】



【路線バス停留所の認知度（年齢別）】

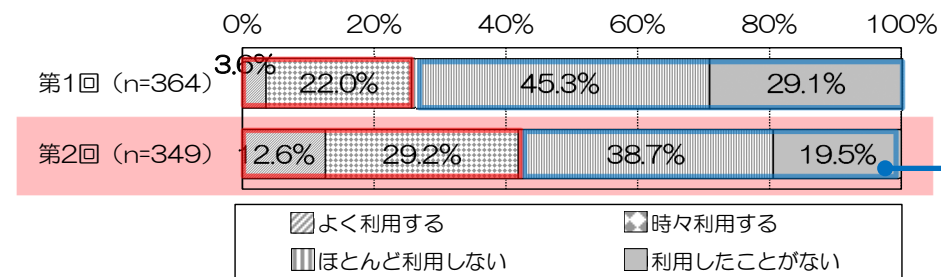


※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

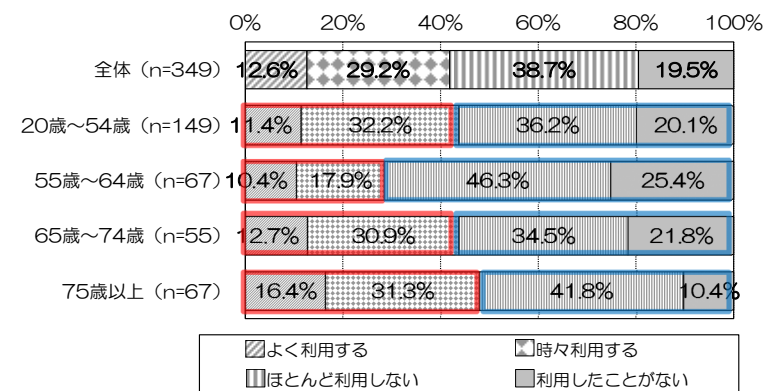
1.7 豊中市内を運行するバス交通の利用状況〔第1回～第2回共通設問〕

- ▶ 豊中市内のバス交通の利用状況は、「利用する（よく利用する+時々利用する）」が4割以上であり、第1回と比べて増加しています。また、「利用したことがない」の割合が第1回と比べて減少しています。
- ▶ 豊中市内のバス交通を利用しない理由は、「自動車で移動する」が最も多く、次いで「自転車やバイクで移動する」、「駅が近い」、「徒歩で移動する」です。他の移動手段を利用でき、および駅に近い状況にあるという理由が上位を占めています（※第1回と同じ傾向）。

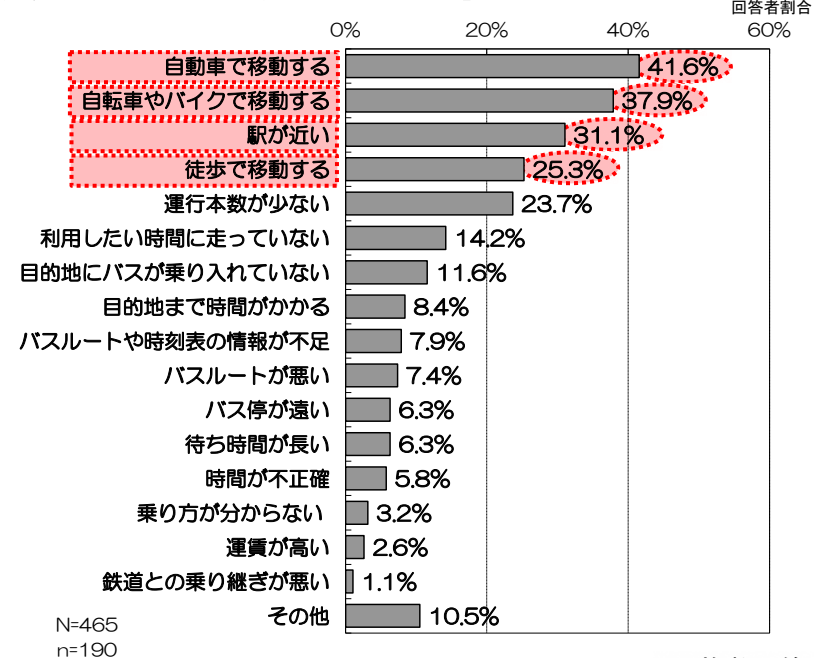
【バス交通の利用状況】



【バス交通の利用状況（年齢別）】



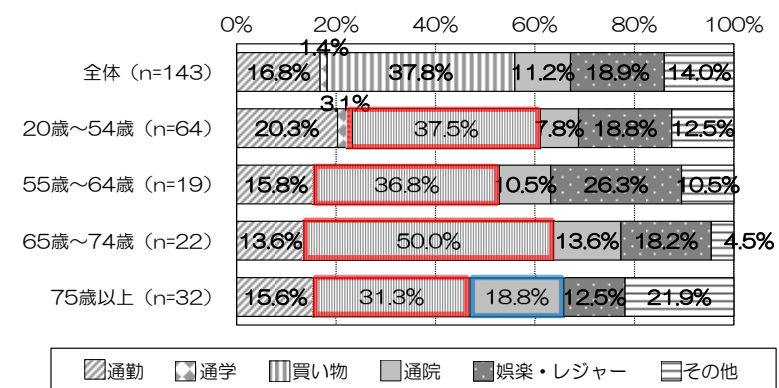
【豊中市内のバス交通を利用しない理由】



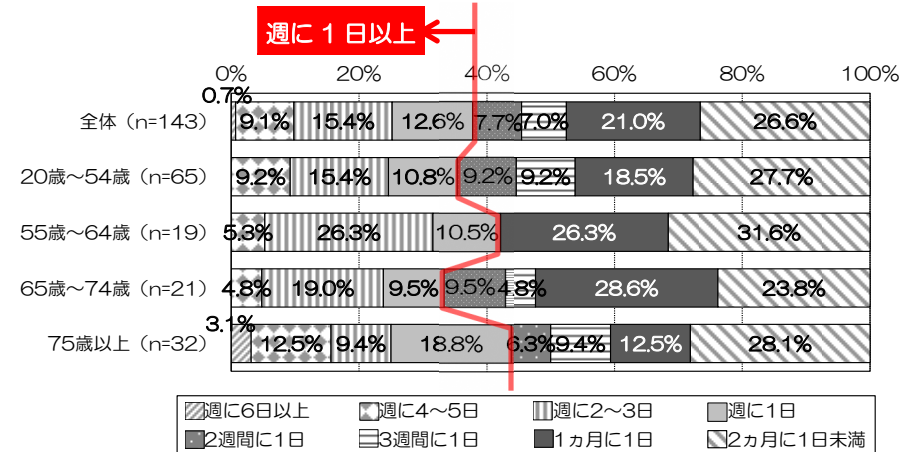
※複数回答

- ▶ 豊中市内のバスの主な利用目的を年齢別で見ると、全ての世代において「買い物」目的の利用が最も多くなっています。75歳以上では「通院」目的の利用の割合が他の世代と比べて高くなっています。
- ▶ 豊中市内のバスの利用頻度を年齢別で見ると、「週に1日以上」の割合は全ての世代において4割前後を占めており、大きなばらつきは見受けられません。
- ▶ 豊中市内のバス利用時における自宅を出発する時間帯は、「9～10時台」が最も多く、次いで「7～8時台」であり、自宅に帰宅する時間帯は、「17～18時台」が最も多く、次いで「15～16時台」です。

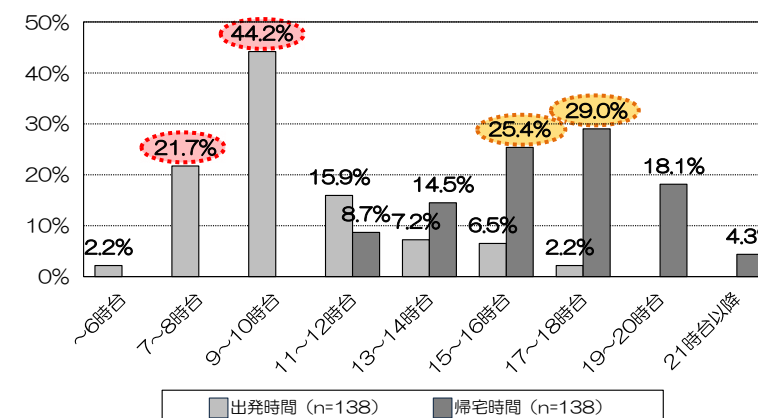
【バスの主な利用目的（年齢別）】



【バスの利用頻度（年齢別）】



【バス利用時における自宅を出発する時間帯と自宅に帰宅する時間帯】

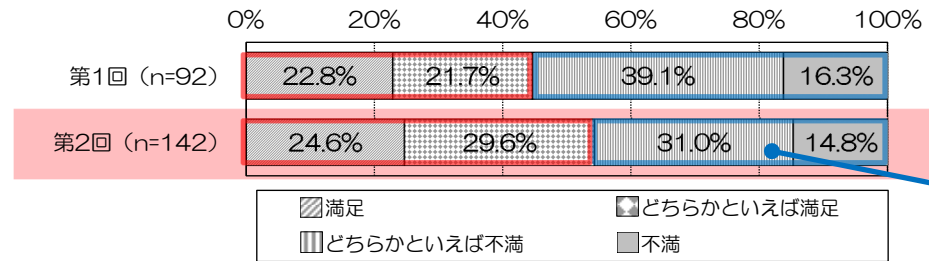


※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

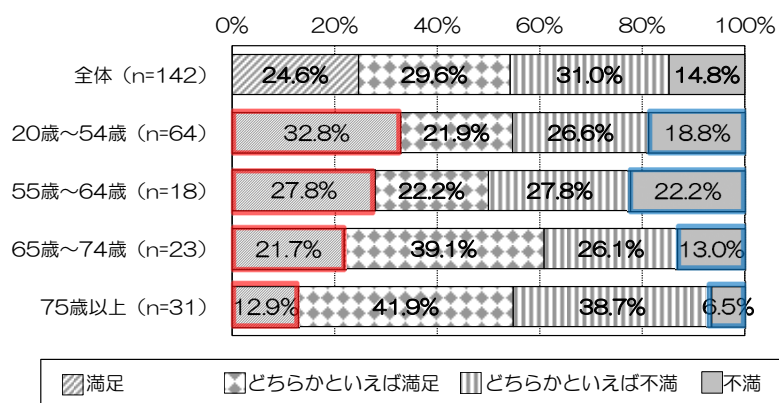
1.8 豊中市内のバスでの移動に対する満足度〔第1回～第2回共通設問〕

- ▶ 豊中市内のバスでの移動に対する満足度は、「満足（満足+どちらかといえば満足）」が5割以上を占めています。
- ▶ 豊中市内のバスでの移動に対する満足度を年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて、「満足」と「不満」の割合がともに減少傾向にあります。
- ▶ 不満（どちらかといえば不満+不満）の理由は、「運行本数が少ない」が最も多く、次いで「利用したい時間に走っていない」、「バスルートが悪い」、「目的地にバスが乗り入れていない」の順です。

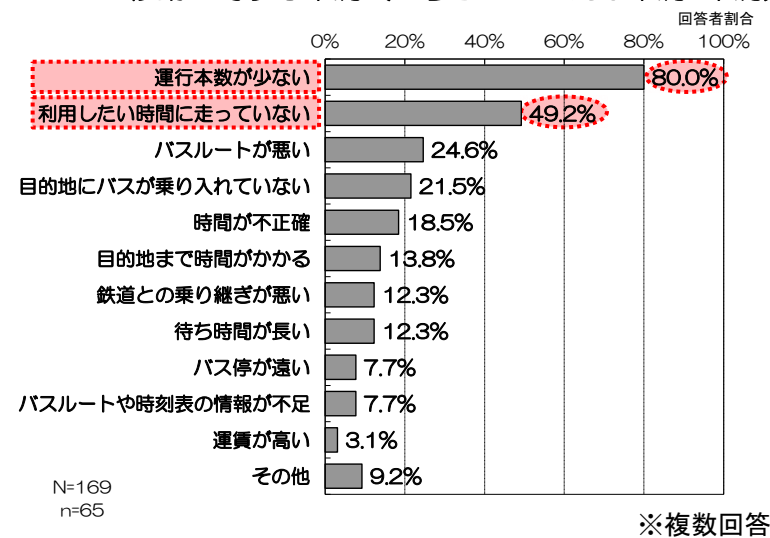
【豊中市内のバスでの移動に対する満足度】



【豊中市内のバスでの移動に対する満足度（年齢別）】



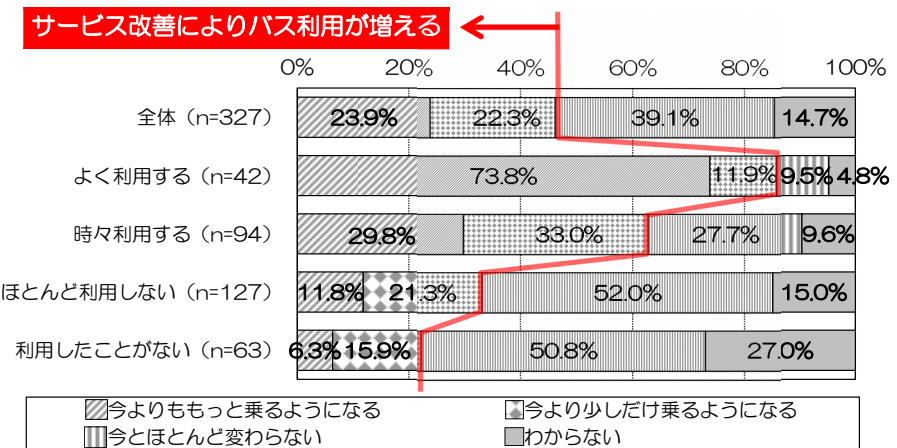
【豊中市内のバスでの移動に対する不満（どちらかといえば不満+不満）の理由】



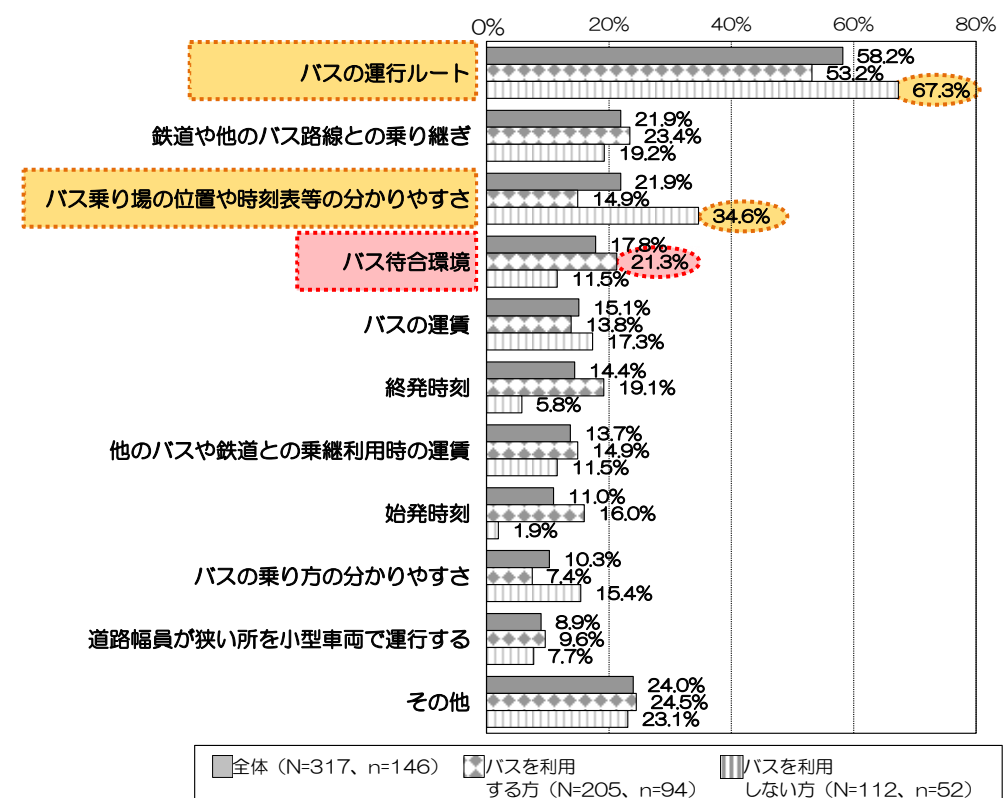
1.9 サービス改善によるバス利用意向〔第1回～第2回共通設問〕

- ▶ 豊中市内のバス交通のバスサービスが改善された場合におけるバス利用の変化をバス利用状況別に見ると、バスを利用する方（よく利用する+時々利用する）はバス利用の増加が見込まれます。バスを利用したことがない方は、「今とほとんど変わらない」の割合が約半数を占めます。
- ▶ 豊中市内のバス利用を増加させるために改善すべき項目は、「バスの運行ルート」が最も多く、次いで「鉄道や他のバス路線との乗り継ぎ」及び「バス乗り場の位置や時刻表等の分かりやすさ」、「バス待合環境」の順です。バス利用状況別で見ると、「バス待合環境」はバスを利用する方の割合が高く、「バスの運行ルート」及び「バス乗り場の位置や時刻表等の分かりやすさ」はバスを利用しない方の割合が高くなっています。

【バスサービスが改善された場合における路線バス利用の変化（バス利用状況別）】



【バスの利用を増加させるために改善すべき項目（バス利用状況別）】



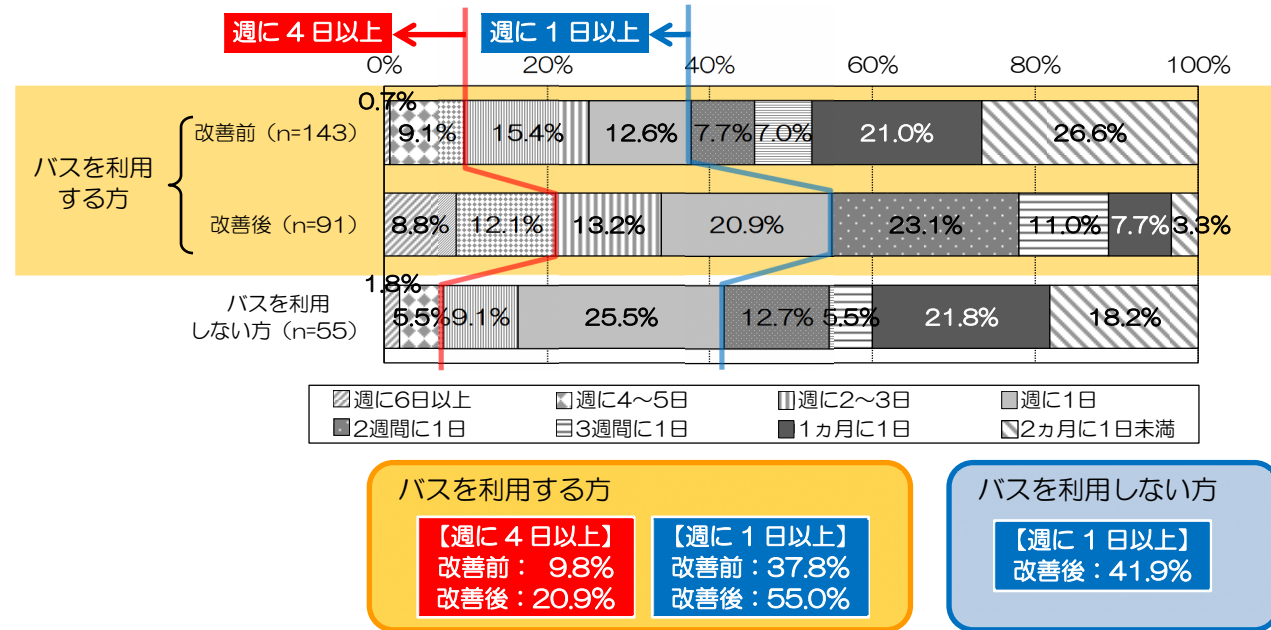
※複数回答（バスの利用を増加させるために改善すべき項目）

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

1.11 hanica はんきゅうグランドパスの認知状況〔第1回～第2回共通設問〕

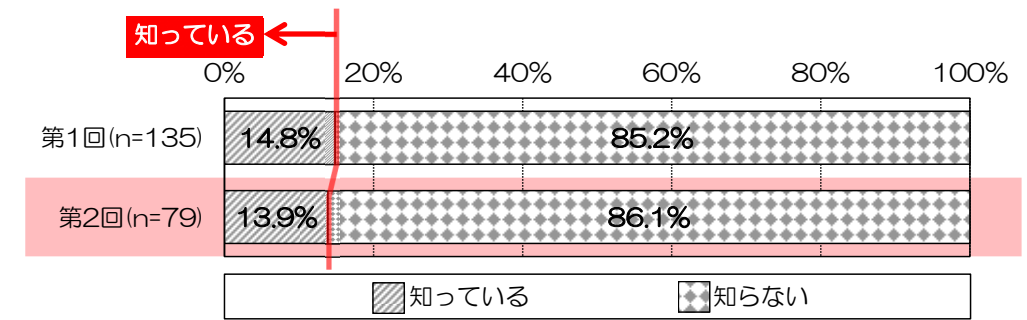
- サービスが改善された場合における利用頻度の変化をバスの利用状況別に見ると、バスを利用する方は、サービスの改善による利用頻度が改善前の利用頻度と比べて、「週に4日以上」の割合が約1割、「週に1日以上」の割合が約2割増加しています。
- バスを利用しない方のサービス改善による利用頻度は、「週に1日以上」の割合が4割以上を占めています。

【サービスが改善された場合における利用頻度の変化（バス利用状況別）】

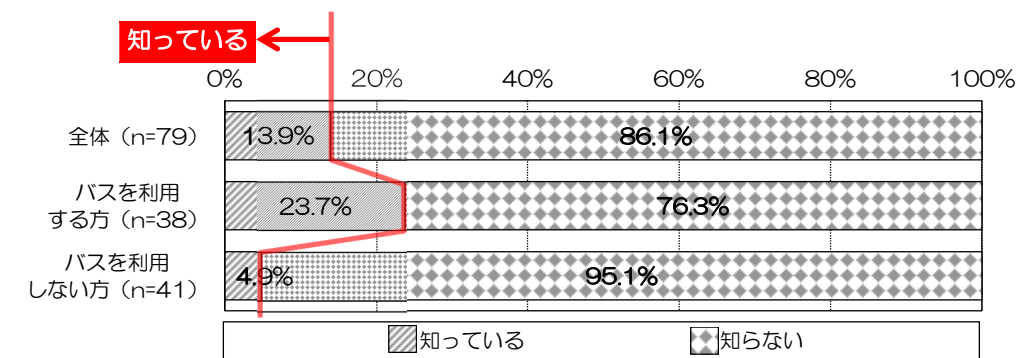


- 65歳以上の方を対象に「hanica はんきゅうグランドパス」の認知率を見ると、「知っている」が約14%です。
- バスの利用状況別に見ると、「知っている」がバスを利用する方で約24%、バスを利用していない方が約5%です。

【「hanica はんきゅうグランドパス」の認知率】



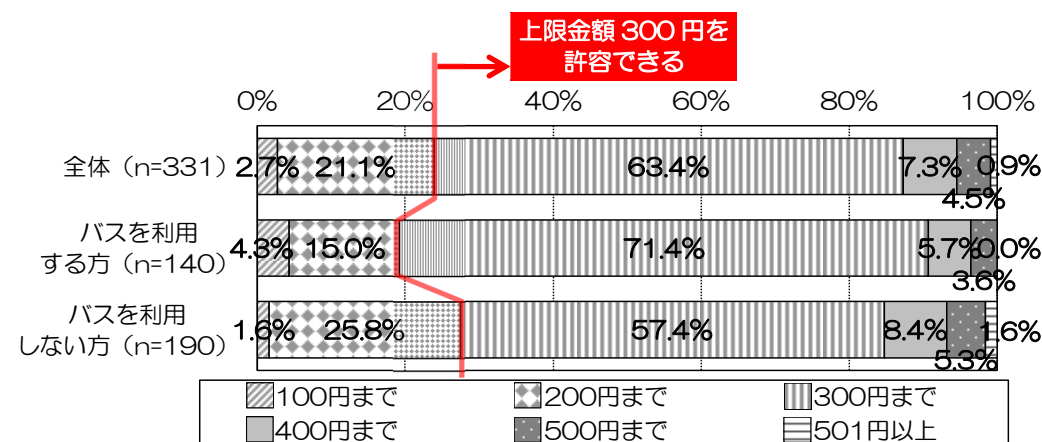
【「hanica はんきゅうグランドパス」の認知率（バスの利用状況別）】



1.10 バス運賃に対する意向〔第1回～第2回共通設問〕

- 利用可能な運賃の上限金額をバスの利用状況別に見ると、バスを利用する方がバスを利用しない方に比べて、許容できる運賃を高く回答している割合が高くなっています。

【利用可能な運賃の上限金額（バス利用状況別）】



高齢者向け阪急バス全線フリー定期券「hanica はんきゅうグランドパス」

65歳以上の方を対象とした、阪急バス・阪神バスのすべての区間（※一部路線を除く）で利用可能なICカードの定期券です。

【グランドパス65（65歳から69歳までの方）】

- 通用期間1年（51,200円）を購入した場合、1日あたり約140円

【グランドパス70（70歳以上の方）】

- 通用期間1年（48,600円）を購入した場合、1日あたり約133円

使い方は、バスに乗る時と降りる時にICカード読取機にタッチ!!



出典：阪急バス株式会社HP

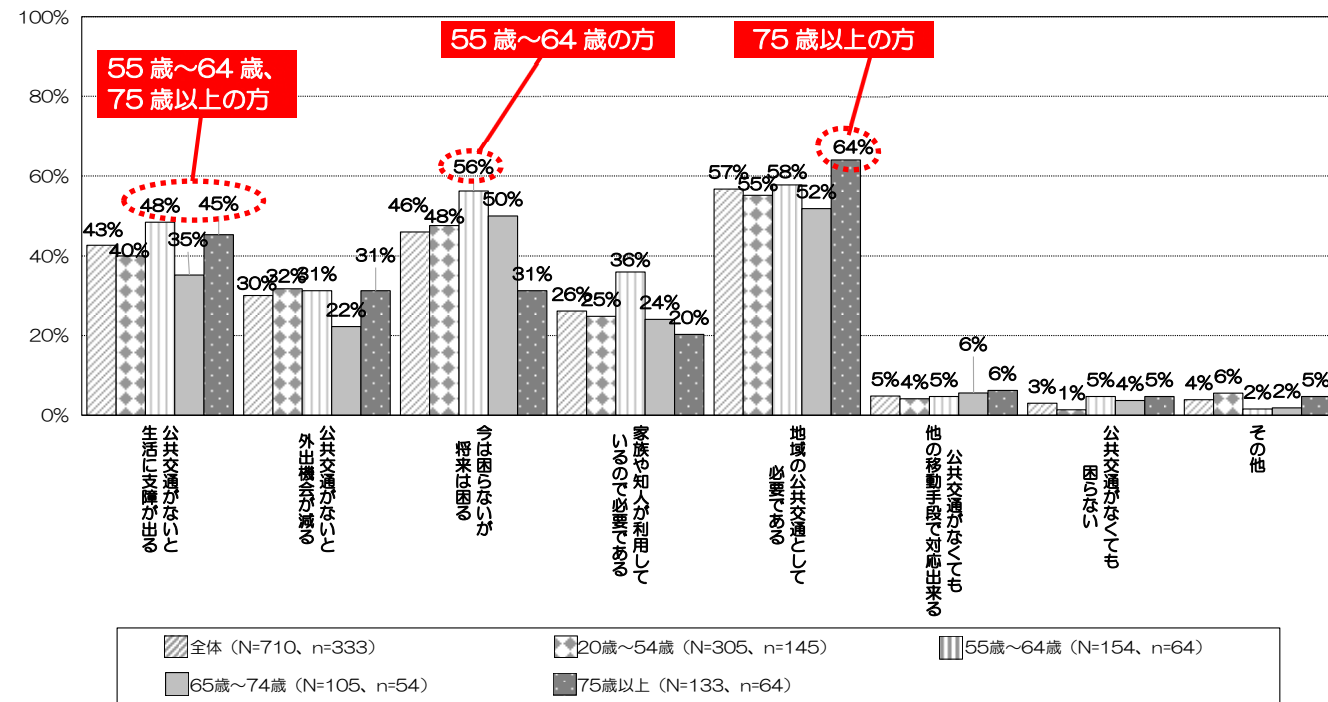
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

1.12 公共交通の必要性について〔第1回～第2回共通設問〕

(1) 公共交通の必要性

- 公共交通の必要性は、「地域の公共交通として必要である」が最も多く、次いで、「今は困らないが将来は困る」、「公共交通がないと生活に支障が出る」の順です（※第1回は、「今は困らないが将来は困る」が最も多く、次いで、「地域の公共交通として必要である」、「公共交通がないと生活に支障が出る」の順）。
- 公共交通の必要性を年齢別に見ると、「今は困らないが将来は困る」は55歳～64歳の方で多く、「地域の公共交通として必要である」が75歳以上の方が多い状況です。また、「公共交通がないと生活に支障が出る」は55歳～64歳及び75歳以上の方が多くなっています。

【公共交通の必要性（年齢別）】

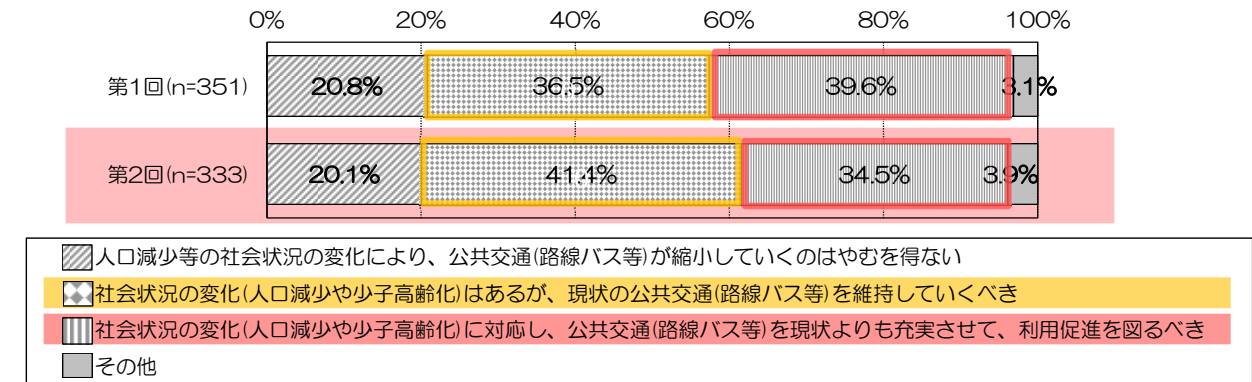


※複数回答（公共交通の必要性）

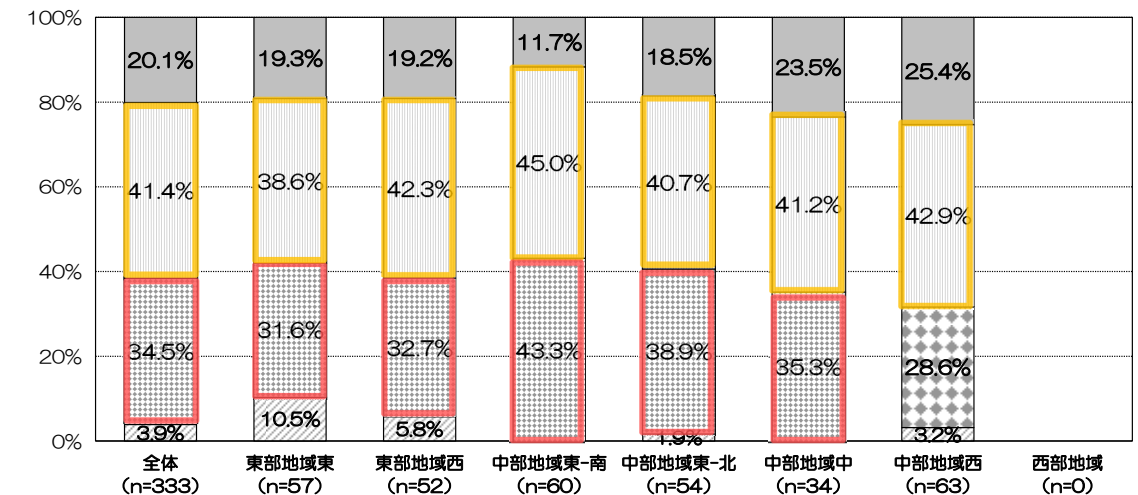
(2) 公共交通を維持・確保することの必要性

- 公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由は、「社会状況の変化はあるが、現状の公共交通を維持していくべき」と「社会状況の変化(人口減少や少子高齢化)に対応し、公共交通(路線バス等)を現状よりも充実させて、利用促進を図るべき」を合わせた割合が約8割を占めています（※第1回と同じ傾向）。
- 公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由を地域別に見ると、「社会状況の変化はあるが、現状の公共交通を維持していくべき」が全ての地区で最も多く、次いで「社会状況の変化(人口減少や少子高齢化)に対応し、公共交通(路線バス等)を現状よりも充実させて、利用促進を図るべき」となっています。

【公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由】



【公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由（地域別）】



※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある